

# 地域で育てる福賀っ子

～地域の諸団体との連携を通して～

【阿武町 福賀中学校区】

## 地域の概要

阿武町は、奈古、福賀、宇田郷の三つの地区から構成されています。奈古、宇田郷の両地区が、日本海に面した漁業中心の地域であるのに対して、福賀地域は農業地域です。子ども会育成連絡協議会や地域ぐるみ生徒指導推進協議会など地域で子どもを育てようとする意識が高い地区です。

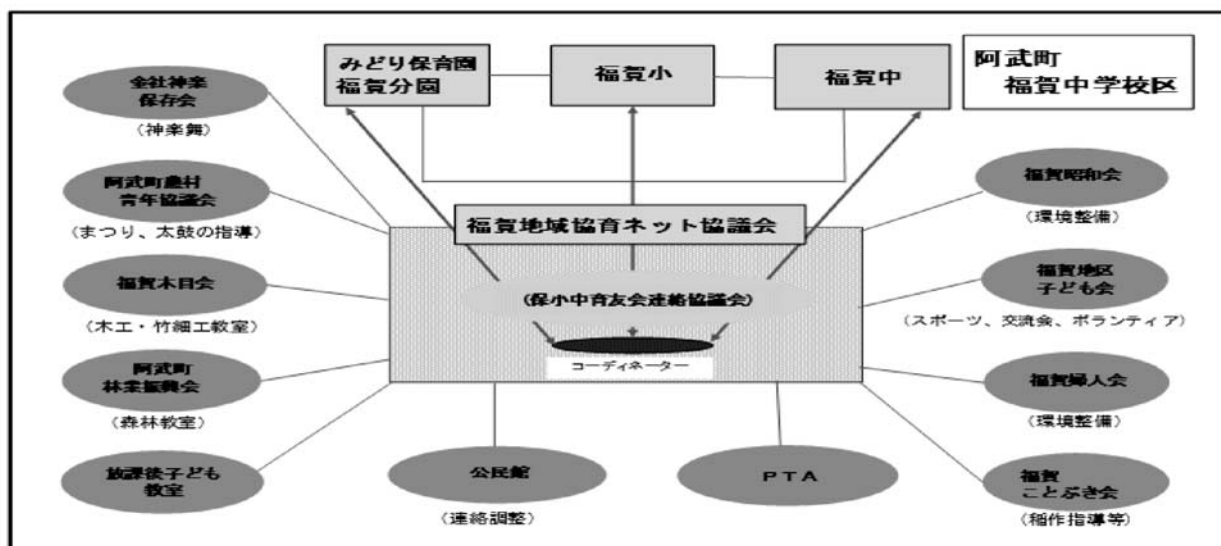
人口	668人	
世帯数	304世帯	
対象校・園 及び園児 児童生徒数	福賀中学校	8人
	福賀小学校	16人
	みどり保育園分園	6人

保護者や地域の方の教育への意識や期待は高く、地域振興、相互扶助、ボランティア、生涯学習の深化を目的とした様々な団体が設立され、相互に密接に連携し合って活動しています。

## 組織の内容

本中学校区の「地域協育ネット」の中核を担うのは、「保小中育友会連絡協議会」です。この連絡協議会は、みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校のPTAの役員、福賀地区子ども会育成連絡協議会会長、福賀公民館長によって構成されています。この協議会では、地域の子どもたちに関する課題などを、保・小・中が連携した取組を通して解決しています。コーディネーターは福賀公民館長が兼ねています。

みどり保育園福賀分園、福賀小学校、福賀中学校では、これら諸団体と日頃から連絡を密にし、総合的な学習の時間の講師、登下校の見守り活動、環境整備作業の支援、放課後における個別の学習指導などの支援を受けています。



## 特色・重点的な取組

【福賀小学校】・ぐんぐんのびろ、やさ

いをそだてよう

(1・2年生)

【福賀中学校】・こいのぼり立て



こいのぼり立て



クリーン作戦

【共通】・クリーン作戦

## 主な活動の紹介

### ○ぐんぐんのびろ、やさいをそだてよう（福賀小学校）

農業法人「埋もれ木の郷」からの紹介で、農家で野菜を作りました。ピーマンやトマトの栽培を通して、農家の苦勞と収穫の喜びを知ることができました。ピーマンは、1本の茎からシーズンを通して200個あまり採れます。最後の収穫の後、その茎を抜く作業の時には、涙を流す女の子もいました。苗植えから摘果作業、そして収穫と一連の作業を体験する中で、農家の方が子どもたちに伝えたかった思いや「食物への感謝」の気持ちが芽生え始めました。（1・2年生 生活科）



摘果作業



出荷準備



さよならピーマン

### ○こいのぼり立て（福賀中学校）

毎年5月、ゴールデンウィークに合わせて、地域の方と力を合わせて、学校の前を流れる大井川の土手に100本余りの鯉のぼりを立て、帰省客や観光客を楽しませています。

#### 【生徒の感想】

「地域の方が、『仕方が分かるかね』と、やさしく教えてくださいました。その時、地域の方のやさしさを改めて感じることができました」

### ○クリーン作戦（福賀小・中学校）

11月27日に、小・中学校合同で地域のクリーン作戦を実施しました。これは、中学生が計画を立て、小学生と一緒に日頃お世話になっている地域をきれいにしようとする活動です。

#### 【児童の感想】

「ぼくは、『みんなでゴミを拾っています』と答えると、『ありがとね。みんなのおかげできれいになるね』と笑顔で言ってくれました。ぼくは、ゴミを拾うことで地域の方の笑顔が見られてうれしかったです」

#### 【生徒の感想】

「クリーン作戦を行って、驚いたことがあります。それは、ゴミがとっても多く落ちていたことです。特に、タバコの吸い殻やペットボトルがたくさんありました。ぼくは、残念でなりません。何とか、改善していきたいと思いました」



クリーン作戦

## 成果と課題

子どもたちは、さまざまな地域の行事に参加したり、地域に出向いたりすることで地域との絆きずなを深め、地域へ「元氣」を発信できたように思います。また、日頃お世話になっている地域に恩返しをすることで、自分自身も地域の一員であるという自覚が強くなってきました。

さらに、公民館と連携し、地域の方の知識や経験が活かされるシステムを構築することが、児童生徒のため、そして地域の方の自己実現や生きがいくくりにもつながると思います。

## 今後の取組

来年度から導入されるコミュニティ・スクールを「地域協育ネット」と併せて充実させるために、「めざす子どもの姿」を学校・家庭・地域が共有し、「地域に愛されなければ、地域を愛する子どもは育たない」を合言葉に、更なる連携を深めていきたいと思っています。